



## 平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月4日

上場会社名 株式会社アサカ理研 上場取引所 東  
 コード番号 5724 URL <http://www.asaka.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 慶太  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 佐久間 良一 TEL 024-944-4744  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月4日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	6,296	6.6	146	△20.3	143	△17.3	229	△0.9
28年9月期第3四半期	5,905	△15.4	184	△2.3	173	6.8	231	75.8

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 235百万円 (14.1%) 28年9月期第3四半期 206百万円 (76.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	90.16	89.84
28年9月期第3四半期	91.14	90.87

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第3四半期	5,932	2,731	45.9	1,070.01
28年9月期	5,759	2,534	43.9	991.77

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 2,725百万円 28年9月期 2,526百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	-	0.00	-	15.00	15.00
29年9月期	-	0.00	-	-	-
29年9月期(予想)	-	-	-	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,176	4.9	190	△15.2	178	△6.0	251	10.2	98.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期3Q	2,572,300株	28年9月期	2,572,300株
② 期末自己株式数	29年9月期3Q	24,950株	28年9月期	24,908株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期3Q	2,547,369株	28年9月期3Q	2,543,560株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において当社グループは、貴金属事業において国内・海外での貴金属取扱量の増加に努め、環境事業では無機薬品及び外壁用光触媒の販売量増加に向けた活動に、貴金属事業に含めておりますレアメタル・レアアース事業では、新たなリサイクル技術の開発に取り組んでまいりました。

このような中、当社の主力事業である貴金属の取扱量が国内・海外ともに前年同四半期比増加し、売上高は6,296百万円（前年同四半期比6.6%増）となりました。営業利益は、貴金属事業が好調である等の増加要因もありましたが、レアメタルリサイクル実証事業での一過性の研究開発費138百万円を計上したことにより146百万円（前年同四半期比20.3%減）となりました。経常利益は143百万円（前年同四半期比17.3%減）。親会社株主に帰属する四半期純利益は、レアメタルリサイクル実証事業での補助金受給による特別利益159百万円の計上により229百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。

なお、レアメタルリサイクル実証事業は今後も注力し、研究開発の成果による売上・利益への貢献は翌連結会計年度以降を予定しております。

各セグメントの業績は、次のとおりです。なお、各セグメントの金額については、セグメント間取引を含んでおります。

また、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### (貴金属事業)

当事業の主要顧客の属する電子部品・デバイス工業分野の生産は総じて堅調に推移し、当社の貴金属取扱量も増加しました。貴金属相場も平均で前年同水準となり、海外子会社での貴金属取扱量も増加したことから、売上高は5,662百万円（前年同四半期比5.9%増）となりました。セグメント利益は、レアメタルリサイクル実証事業による全社費用の増加により124百万円（前年同四半期比34.3%減）となりました。

#### (環境事業)

主力製品である銅ペレットの販売数量は前期を上回ったものの、全社費用の増加等により、売上高は558百万円（前年同四半期比14.6%増）、セグメント損失は6百万円（前年同四半期は30百万円の損失）となりました。

#### (システム受託開発事業)

計測データ処理システム等の受注が堅調に推移し、売上高は67百万円（前年同四半期比5.6%増）、セグメント利益は21百万円（前年同四半期比67.4%増）となりました。

#### (その他)

その他に含まれる運輸事業等の売上高は107百万円（前年同四半期比7.1%増）、セグメント利益は4百万円（前年同四半期比147.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(資産の部)

前連結会計年度末に比べて173百万円増加し、5,932百万円となりました。

主な要因は、建物及び構築物が192百万円増加したことです。

(負債の部)

前連結会計年度末に比べて23百万円減少し、3,201百万円となりました。

主な要因は、未払法人税等が83百万円増加し、借入金が13百万円、社債が40百万円、繰延税金負債が61百万円減少したことです。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べて196百万円増加し、2,731百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が191百万円増加したことです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の「平成29年9月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,328,178	1,353,052
受取手形及び売掛金	315,234	375,673
商品及び製品	439,198	322,829
仕掛品	251,426	274,408
原材料及び貯蔵品	149,931	148,094
繰延税金資産	54,577	27,749
その他	194,121	148,082
流動資産合計	2,732,667	2,649,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,067,587	2,318,721
減価償却累計額	△964,632	△1,023,266
建物及び構築物(純額)	1,102,954	1,295,455
機械装置及び運搬具	2,284,784	2,377,354
減価償却累計額	△1,914,080	△1,994,546
機械装置及び運搬具(純額)	370,704	382,808
土地	1,205,636	1,221,156
リース資産	56,999	56,999
減価償却累計額	△46,064	△48,446
リース資産(純額)	10,934	8,552
建設仮勘定	22,278	37,362
その他	186,205	191,681
減価償却累計額	△165,393	△170,869
その他(純額)	20,811	20,812
有形固定資産合計	2,733,319	2,966,146
無形固定資産	23,170	24,111
投資その他の資産		
投資有価証券	26,933	39,599
退職給付に係る資産	104,967	101,415
その他	138,589	151,572
貸倒引当金	△32	—
投資その他の資産合計	270,457	292,587
固定資産合計	3,026,947	3,282,845
資産合計	5,759,615	5,932,737

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	136,150	147,547
短期借入金	1,107,354	827,739
1年内償還予定の社債	40,000	10,000
リース債務	3,399	2,615
未払法人税等	23,205	106,804
賞与引当金	85,050	48,366
その他	283,601	318,972
流動負債合計	1,678,761	1,462,045
固定負債		
社債	210,000	200,000
長期借入金	899,340	1,165,848
リース債務	8,309	6,543
繰延税金負債	164,923	103,517
長期未払金	213,174	208,347
資産除去債務	50,798	48,006
その他	—	7,229
固定負債合計	1,546,546	1,739,493
負債合計	3,225,307	3,201,539
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	504,295	504,295
資本剰余金	352,522	352,522
利益剰余金	1,685,720	1,877,190
自己株式	△13,678	△13,740
株主資本合計	2,528,860	2,720,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,685	13,686
繰延ヘッジ損益	—	△5,068
為替換算調整勘定	△386	△338
退職給付に係る調整累計額	△3,722	△2,846
その他の包括利益累計額合計	△2,423	5,433
新株予約権	2,821	2,766
非支配株主持分	5,050	2,730
純資産合計	2,534,307	2,731,197
負債純資産合計	5,759,615	5,932,737

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,905,393	6,296,466
売上原価	4,804,076	5,079,998
売上総利益	1,101,316	1,216,468
販売費及び一般管理費	916,840	1,069,495
営業利益	184,475	146,972
営業外収益		
受取利息	140	89
受取配当金	221	227
受取賃貸料	6,362	6,216
受取保険金	7,190	10,744
業務受託料	8,506	—
為替差益	—	3,991
助成金収入	7,309	—
その他	3,962	4,442
営業外収益合計	33,692	25,712
営業外費用		
支払利息	18,889	16,909
為替差損	15,455	—
支払手数料	1,050	7,875
その他	9,159	4,259
営業外費用合計	44,554	29,043
経常利益	173,614	143,641
特別利益		
補助金収入	104,200	159,193
新株予約権戻入益	—	54
ゴルフ会員権売却益	—	166
特別利益合計	104,200	159,413
特別損失		
固定資産売却損	14	—
固定資産除却損	55	83
特別損失合計	70	83
税金等調整前四半期純利益	277,744	302,971
法人税、住民税及び事業税	15,445	109,017
法人税等調整額	32,901	△33,375
法人税等合計	48,346	75,642
四半期純利益	229,397	227,328
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,433	△2,351
親会社株主に帰属する四半期純利益	231,830	229,680



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	229,397	227,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,371	12,001
繰延ヘッジ損益	—	△5,068
為替換算調整勘定	△1,702	78
退職給付に係る調整額	2,765	876
その他の包括利益合計	△23,308	7,889
四半期包括利益	206,089	235,217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	209,203	237,537
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,114	△2,319

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	環境事業	システム受託 開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,348,063	487,145	63,790	5,898,999	6,393	5,905,393
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	94,464	94,464
計	5,348,063	487,145	63,790	5,898,999	100,858	5,999,857
セグメント利益又は 損失(△)	188,980	△30,067	12,836	171,748	1,865	173,614

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業等でありま  
す。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	環境事業	システム受託 開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,662,956	558,244	67,371	6,288,573	7,893	6,296,466
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	100,095	100,095
計	5,662,956	558,244	67,371	6,288,573	107,988	6,396,562
セグメント利益又は 損失(△)	124,198	△6,656	21,485	139,028	4,612	143,641

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業等でありま  
す。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「システム受託開発事業」について量的な重要  
性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区  
分に基づき作成したものを開示しております。